

## 「森と木の話」ー森林の働きを知り森を育てようー

福井県の中央に位置する山と海に囲まれた自然豊かな町、南越前町において、平成24年10月26日当事務所は、「未来につなぐ水源の森づくり」をテーマに、地元の南越前町長、南越前町立湯尾小学校5、6年生の生徒や関係森林組合の皆さんを招いて植樹祭を開催したところです。

当事務所では、未来を担う子供たちに、植樹祭での「木を植える」作業だけでなく、「木を育てる」学習を通じて、もっと「地元の森林・林業の大切さを知って欲しい」という思いから、植樹祭のコンセプト「つなげよう未来に！育もう緑を！」を引き継ぐ取組として、平成26年2月21日(金)に福井県南条郡南越前町立湯尾小学校の5年生を対象に出前授業を行いました。

当日は社会科の授業の一環として学校の4時間目をいただき、パワーポイントやスケッチ画を用いて、子供たちにもわかりやすく森林の役割や当センターの仕事などについて説明しました。

### (1) 森林の役割として

- ①雨水をゆっくりと流し出すはたらき
- ②山崩れや土が流れ出るのを防ぐはたらき
- ③二酸化炭素を吸収して蓄えるはたらき
- ④木を育み木材を届けるはたらき
- ⑤仕事(林業)の場所の提供



### (2) 身の回りでいっぱい木を使おう

- ①日本の森林資源について
- ②木の魅力
- ③生活の中での木の使われ方

### (3) 森林農地整備センターの仕事って？

といった話を静かに真剣に聴いている様子が窺えました。

教室には地球温暖化について勉強したことや調べたことが掲示してあり、そうした自然学習の基礎が理解を更に深めてくれているようでした。



また、子供たちには、造林地の地権者から頂いた天然ヒノキの枝材で作った名札に名前を書いてプレゼントしました。とても好評で、細かいなあと言いながら一生懸命自分の名札の年輪を数えていました。

授業を受けた後の感想文では、

- ・ 森林の役割が説明でよくわかった
- ・ 森林が無いと怖いことがわかった
- ・ 森林の大切さがわかった
- ・ 森林の事をもっと知りたい
- ・ 長い年月をかけて大きくなった木を使った物を大事にしたい

などが寄せられました。

限られた時間ではありましたが、森林全体に子供たちの興味が向けられたことに手応えを強く感じました。

これからもこのような機会を出来る限り設けて、地域の子供たちに森林の大切さを伝え続けてまいります。

当センターでは、地域の小中学校などを対象に、出前森林講座（森林教室）を開催しています。

詳しい内容や開催のご要望などは、お近くの整備局、水源林整備事務所にお問い合わせください。

【整備局、水源林整備事務所の一覧はこちら】

<http://www.green.go.jp/annai/shozaiti.html>